

2019年3月29日

日本政策投資銀行の「DBJ BCM 格付」最高ランク取得

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長：松井徹）は、株式会社日本政策投資銀行（本店：東京都千代田区、代表取締役 社長：渡辺一）が防災と事業継続への取り組みに優れている企業を評価する「DBJ BCM 格付」の最高ランクを2013年4月に引き続き連続で取得し、同日、当該格付にもとづく融資を受けました。

「DBJ BCM 格付」融資とは、同行が開発した独自の評価システムにより、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという「BCM（Business Continuity Management）格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニュー。

今回、当社は以下の点を高く評価されました。

- (1) リスク管理センターを新設し、内外の危機事案に関する迅速な情報収集、初動対応、所管部門の役割分担指示といった統括機能を確立した点
- (2) 高い世界シェアを誇る製品への供給責任を踏まえ、BCPの実効性を高める「行動フロー」の策定と実装に注力しているほか、全ての仕入先に対してアンケート調査により防災及び事業継続に関する取り組み状況を調査している点
- (3) CSIRT（Computer Security Incident Response Team）を組織し中長期の計画のもと、サイバーセキュリティの体制・機能強化に向け取り組んでいる点。さらに、世界各地に広がる拠点網を活かし、本社機能、サプライチェーン管理において代替性を有効に確保していることに加え、各部ごとにクリティカル業務を洗い出し、重要な経営資源である人員やシステムについて対策を実施する等、事業継続の高度化に取り組んでいる点

当社は昨年、中期経営ビジョン「2022年 住友理工グループ Vision（2022V）」を策定し、経営戦略の一つにグローバル経営基盤の強化を掲げています。災害による製品供給への影響を最小限に抑えるため、防災をはじめとするリスク管理体制の強化に引き続き努めます。

以上

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail kouhou@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>